

東京交通新聞

東京交通新聞社

〒100-0022
東京墨田区新富2-13-10
電話(代) 03・3352・2181
編集 03・3352・2182
出版 03・3352・2183
販売 03・3352・2184
広告 03・3352・2185
FAX 03・3352・2186
編集発行人 横山敬一郎
印刷 東京03110-7-52516
印刷所 東京交通新聞社 2017

チームネクスト 規制緩和要望

気鋭のタクシー経営者でつくるチームネクストの白包健一代表世話人(三ヶ森タクシー社長、福岡)らは16日、東京・霞が関の国土交通省を訪れ、藤井直樹自動車局長と懇談、交通空白エリアへの事業参入・最低車両数基準の引き下げや、観光用ジャンボタクシー(特定大型車)の営業区域拡大など規制緩和を要望した。藤井局長は各地の取り組みを後押しする姿勢を示した。

国交省自動車局長と懇談

チームネクストとして同(北星交通、青森)、及川孝一、神奈川、加藤高立千代省を訪問するのは初めて。(フタバタクシー、宮城)藤田タクシ、静岡)、天野清美(つばめ自動車、愛知)、森崎清登(近畿タクシー、兵庫)の各氏ら、堀家久靖自動車局審議官や鶴田浩久旅客課長が同席した。

それぞれ自社の最新の取り組みと課題を説明。白包氏は昨年のニューヨーク、組みなども示した。

天野氏は、名古屋で今年の春・夏に予定する相乗りなどの実証実験の構想を披露。「透析患者の方々に参画してもらおう。実験地は東京だけでなく」とし、運賃設定の弾力化や予算措置での支援を求めた。下山氏は交通空白地解消のため、人口1万人以下でタクシー事業の最低車両数5台の規定を2台に、加藤氏は「インバウンド(訪日外国人)需要に向け、ジャンボタクシーの営業区域の全開拡大を」と要望した。

森崎氏は神戸で展開する「ケーキなどの店舗を巡る観光タクシーを紹介し」ライオンシアターにはできないサービスだ。ヒット商品で、タクシーの強みなので必死に取組む」と強調。及川氏は会長を務める全国子育てタクシー協会の活動や、利用券の発行など先の要望内容を説明した。藤原氏は無料の託児所を営業所内に開設したことに触れ「タクシーのイメージを変えたい」とアピールした。

藤井局長は「世間はタクシーのサービス水準が上がっているのだから見ている。安全は譲れない。有償運送と対立せず、市町村をうまく取り込んでほしい」と期待を示した。

前日からの2日間、神奈川県海老名市で「セミナー合宿」を開催。ハートフルタクシーを見学した。

交通空白地への参入 ジャンボタク区域拡大



藤井自動車局長(奥中央)を囲んで。白包代表(右隣)、天野氏(左から2人目)、及川氏(右端)ら気鋭の経営者が集結した(16日、東京・霞が関)

チームネクストとして同(北星交通、青森)、及川孝一、神奈川、加藤高立千代省を訪問するのは初めて。(フタバタクシー、宮城)藤田タクシ、静岡)、天野清美(つばめ自動車、愛知)、森崎清登(近畿タクシー、兵庫)の各氏ら、堀家久靖自動車局審議官や鶴田浩久旅客課長が同席した。

それぞれ自社の最新の取り組みと課題を説明。白包氏は昨年のニューヨーク、組みなども示した。